

## 信用金庫との取引開始にあたり 出資した場合は？

慣れないうちは取引があったとき、どんな勘定科目で処理すればよいのか、悩むケースもあるでしょう。そうした勘定科目の取扱いについて、新人さんと一緒に、事例をもとに学んでいきましょう。



**新人さん：**〇〇信用金庫にも預金口座を開設したのですか？

**先輩：**ああ、地元の金融機関との取引もしておこうと考えてね。

**新人さん：**そうなんですね。先ほど営業の方が挨拶にみえて、「証券」を置いていかれました。これって、投資もしたってことですか？

**先輩：**いやいや、投資したのではなくて、〇〇信用金庫の会員になったということだよ。

**新人さん：**会員ですか？

**先輩：**そう、信用金庫は会員の自治に基づく地域の金融機関だからね。

### ○解説

「出資金」とは、資金を提供した出資者の持分が有価証券の形態をとらないものを処理する勘定科目です。出

資金には、合名会社等の株式会社以外の会社に対する出資持分や、信用金庫・協同組合等に対する出資持分などがあります。また、ゴルフ会員権等も含まれます。

「出資金」は譲渡することが可能ですが、短期的に売買を目的とするものではありませんので、「有価証券」や「投資有価証券」とは区分して処理します。

「出資金」の決算時の会計処理について、直接的な規定はありませんが、その性質から「投資有価証券」に準じて処理をします。つまり、決算時には「出資金」は取得原価により評価しますが、財政状態の悪化により実質価額が著しく低下（50%程度以上低下）したときは、相当の減額（減損処理）をします。

合同会社等の関係会社がある場合については、関係会社に対するものとそうでないものとを区分して、関係会社に対するものについては「関係会社出資金」として別に表示します。



### ケース1 信用金庫に出資した場合

〇〇信用金庫との取引開始にあたり、現金100,000円を出資した。

【借方】 出資金 100,000 / 【貸方】 現金 100,000

### ケース2 出資持分を譲渡した場合

△△協同組合への出資金1,000,000円の持分をA社に譲渡し、譲渡代金800,000円が普通預金口座に入金された。

【借方】 普通預金 800,000 / 【貸方】 出資金 1,000,000  
出資金売却損 200,000

### ケース3 出資先の財政状態が悪化した場合

××協同組合に1,000,000円を出資していたが、××協同組合の財政状態が悪化し、決算日における出資持分額が400,000円となり、実質価額が著しく低下していた。

【借方】 出資金評価損 600,000 / 【貸方】 出資金 600,000